

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/incomp/image1.pdf>

平成26年12月26日に不適合管理委員会で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、不適合管理委員会で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

1. GⅠグレード 0件
2. GⅡグレード 0件
3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	原子炉冷却材浄化系再生熱交換器の水張り時、再生熱交換器室排水口から周囲へ水を飛散(約50cc、軽度な汚染あり(総量:約2500Bq))させたことを確認した。拭き取り実施済み。当該事象の原因を調査。	
2	3号機	放射性廃棄物処理制御室にある原子炉建屋付属棟・サービス建屋排水槽ポンプ運転記録計に動作不良を確認した。当該記録計を点検・修理。	
3	3号機	3・4号工具センターにおいて、トルクレンチの誤差が管理値を超えていることを確認した。当該レンチを校正・修理、測定記録の妥当性を評価。	
4	4号機	非常用ディーゼル発電機(A)の試運転時、過速度停止装置の動作不良のため、当該発電機が起動しないことを確認した。当該装置を点検・修理。なお、非常用ディーゼル発電機の機能には影響なし。	
5	6号機	気体廃棄物処理系ホールドアップ塔室空調機(B)の電気ヒータ制御盤に異常を示す警報が発生し、盤内変圧器近傍が変色していることを確認した。当該制御盤を点検・修理。	